

2011年4月27日

## デンバーで体験できるグリーンな取り組み ベストテン

壮大な大自然、澄み渡った碧い空、新鮮な空気が揃うコロラド州は年間を通して多くの観光客が訪れる観光地です。数ある観光地へのゲートウェイとなる首都デンバーは地球温暖化の影響を受けやすい高地、標高1マイル=1609Mの高さにある『マイルハイ・シティ』と呼ばれ、大切な観光資源である自然を守り、育んでいくために市民ぐるみで様々な取り組みを行っています。

### 1. コロラド・コンベンション・センター

エネルギー使用量、再生可能な購買品の購入、地球に優しいクリーニング方法の採用、入居者の快適性向上、大気環境の改善とごみ処理方法の多様化に着手し、既存の建物を対象としたLEED認定を獲得しました。これらの取り組みにより、Co2排出量を26%削減しただけでなく、運営費においても約100万ドルの削減に成功しました。

<http://denverconvention.com>



### 2. デンバー B-サイクル



デンバー市内を動き回るのに最適な手法として地球に優しく、簡単、手軽なバイク・シェアリング・プログラムが実施されています。ダウンタウンのホテル、観光スポット、博物館、会議場、公園、ショッピングセンターなど市内には50ヶ所のステーション(駅)で貸し出し、返却が可能です。1日5ドルのパスを購入して利用できます。30分以内の利用は無料にすることで近距離の利用を促進しており、1時間以上で1ドル、それ以降は1時間あたり1ドルとなっています。

<http://denver.bicycle.com/>

### 3. デンバー国際空港

米国内では最大規模、利用者数も多い一方で、最も「グリーンな」空港としてCo2削減に意欲的に取り組んでいます。2004年には空港としては初めて環境管理システムISO14001を取得しました。現在は19種類の素材別にリサイクルを実施。空港内では天然圧縮ガスやハイブリッド、バイオディーゼルなどの代替燃料を使った移動手法を提供しています。2008年には2メガワット、2010年には1.6メガワット、2011年には4.4メガワットの太陽光発電システムが完成予定です。

<http://www.flydenver.com>



#### 4. グリーン会議施設パートナーシップ



エネルギー削減、水資源節約などの指標を削減することを目的にして、デンバーにある10の会議施設が集まって「ロッキーマウンテン・グリーン・ベニューズ・パートナーシップ・フォー・サステナブル・コミュニティーズ」(RMGVP)を組織しました。これらの施設はエネルギー、水、廃棄物、交通機関、グリーン・ビルディング、ローカルフードと農業、設備購入、グリーン経済、コミュニティ活動の9分野において取り組みを強化することを発表しています。詳細は以下をご参照ください。

<http://www.denver.org/denver-meetings-conventions/green-meetings/top10>

#### 5. 自慢のパーク・システム

米国最大規模のパーク・システムを持つデンバーでは、市内に200の公園があり、56.6Km<sup>2</sup>のマウンテン・パークには1,368KMのトレイルが整備されています。歩いて楽しめる観光アトラクションが多数ある、全米では数少ない「歩いて周ることのできる街」です。



#### 6. ハイブリッド・タクシー

デンバー市内を走る白いタクシーはガソリン／プロパンまたはガソリン／電気を使って動くハイブリッド車です。現在120台を超えるタクシーが稼動中です。

#### 7. Co2 ウェブ電卓

デンバーは米国の中央に位置していることから多くの学術会議が開催されています。デンバー観光局のウェブサイトには、自分のCo2排出量が簡単に計算できるウェブ電卓のページがあります。会議主催者用の「イベント用」と参加者用の「個人用」があり、ウェブからは計算した排出量をオフセットできる「グリーン」募金もできるようになっています。

<http://www.denver.org/denver-meetings-conventions/green-meetings/co2-calculator/travel>



#### 8. 「グリーンプリント・デンバー」

より清浄な空気、土壌や水のために数値目標を設定した「グリーンプリント・デンバー」はエネルギー管理と有効利用を目的に市長が着手した包括的なエコ・フレンドリープログラムです。公共機関が使う設備費からハイブリッド・タクシー、公園、建造物のLEED認証取得など具体的な数値設定を設け、よりグリーンな都市への変革を目指しています。<http://www.dmns.org/>

#### 9. 100万本植樹プロジェクト

2006年、ヒッケンルーパー・デンバー市長は2025年までにデンバー都市部に100万本を植樹するプログラムを発表しました。現時点での植樹数は201,000本を超え、天然のクーラーとしてだけでなくデンバーの景観美化の上でも大きな役割を果たしています。<http://www.milehighmillion.org/>

#### 10. グリーンについて学ぶなら

「グリーン」について学ぶのに最適な都市、と言われるほど様々な施設が揃っているデンバー。地球温暖化から代替エネルギー、環境回復まで幅広くカバーする視察先として国内外の最高峰のブレーンを集めた国立大気研究所<http://www.milehighmillion.org/>や国立再利用エネルギー研究所<http://www.nrel.gov/overview/>、自然科学博物館<http://www.dmns.org/>などビジター用のプログラムなども実施しています。

写真説明及びクレジット

1. コロラド・コンベンション・センターのブルーベア ©Visit Denver
2. デンバー B-サイクルプログラム ©Visit Denver
3. デンバー国際空港 ©Visit Denver Rich Grant
4. 「グリーン」会議施設パートナーシップ ©Visit Denver Steve Crecelius
5. 自慢のパーク・システム ©Visit Denver Stan Obert
8. 「グリーンプリント・デンバー」夏の州議事堂 Stan Obert VISIT DENVER ©Visit Denver

℞ **VISIT DENVER, The Convention & Visitors Bureau**

デンバーのプロモーションを始めて100年目を迎えるVISIT DENVERはデンバーをレジャー・会議のデスティネーションとしての認知を高め、開発を促進、雇用創出と税収増加のためにマーケティングを行う、非営利の業界団体です。観光業はデンバー第二の産業で、2009年には5万人の雇用を創出、28億ドル相当額の消費を生み出しました。  
[www.visitdenver.com](http://www.visitdenver.com)

℞ **デンバー国際空港について**

デンバー国際空港は、世界で10番目、米国で5番目に利用者の多い空港です。2009年度の利用者は5000万人にのぼり、世界最大の航空市場である米国でもっとも利用者の多いハブ空港の1つです。デンバー国際空港は、年間220億ドルの経済効果をもたらすコロラド州経済の大きな原動力となっています。詳細は、[www.flydenver.com](http://www.flydenver.com)をご覧ください。

℞ **コロラド州について**

コロラド州は米国の中でもアメリカ開拓の歴史を色濃く残す州です。年間晴天率300日を誇り、3千メートル級の山々が連なるロッキー山脈国立公園をはじめとする4つの国立公園を擁しており、恵まれた自然の中、冬はスキー、夏はリゾートと米国内外から観光客で賑わっています。又コロラドはトレッキングやハイキングなどアウトドアやスポーツ愛好家にファンが多く、人と自然の距離を縮める、不思議な力のあるデスティネーションです。  
[www.visitcolorado.jp](http://www.visitcolorado.jp)

～ 当リリースに関するお問い合わせ先 ～

コロラド州観光局 日本事務所（アビアレップス・マーケティング・ガーデン株式会社内）

担当: 米田 TEL: 03-3225-0008 / FAX: 03-5363-1118